

授業科目

児童館の活動内容と指導法II

担当教員名 田中 純一	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修・選択	自由
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

児童ソーシャルワークの展開方法。
 中高校生の居場所づくり、児童の参画、地域ネットワークづくり等、児童館・放課後児童クラブの発展的活動の実施方法。
 児童館・放課後児童クラブ活動の記録方法。

授業の目的

児童ソーシャルワークをベースとした、児童館・放課後児童クラブの日々の活動の流れとともに、行事の企画や、利用者への対応、地域とのかかわり等について学び、児童館・放課後児童クラブの業務の実際を把握する。

学習目標

ケースワーク・グループワーク・コミュニティワークの相互関連性を学び、活用法を習得することを通して、児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法を実践的に学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	児童館の活動内容と指導法においてどのようなことをやるかを学ぶ。	田中 純一
2	児童館・児童クラブにおけるコミュニティワーク	児童館・放課後児童クラブにおけるそれぞれの地域性を考慮してどのようなコミュニティワークを展開するかを学ぶ。	田中 純一
3	コミュニティワークの展開方法と児童厚生員の役割	児童館単独の場合と他団体との共催の場合におけるコミュニティワークの展開の手法を学ぶ。	田中 純一
4	地域のネットワークづくり（地域資源の発掘・育成）	地域の実状を理解し、地域の中の児童健全育成のための資源にはどのようなものがあるかを学ぶ。	田中 純一
5	地域のネットワークづくり（地域の関係機関との連携・協同）	地域の関係機関にはどのようなものがあり、どのような連携・協同が出来るかを学ぶ。	田中 純一
6	児童館における相談対応と児童との関わり	児童館における相談対応のあり方を学ぶ。配慮を要する児童にはどのような児童がいて、どのような手法が必要かを学ぶ。	田中 純一
7	放課後児童クラブにおける相談対応と児童との関わり	放課後児童クラブにおける相談対応のあり方を学ぶ。配慮を要する児童にはどのような児童がいて、どのような手法が必要かを学ぶ。	田中 純一
8	児童遊園の運営について 1	児童厚生施設である児童遊園の役割と運営について学ぶ。	田中 純一
9	児童遊園の運営について 2	児童厚生施設である児童遊園の業務内容を実践的に学ぶ。	田中 純一
10	中高校生の居場所づくり	中高校生の居場所づくりと活動内容・活動手法について学ぶ。	田中 純一
11	実践記録の取り方	児童館・放課後児童クラブにおける日々の実践記録の取り方を学ぶ。	田中 純一
12	実践レポートの書き方	実践レポートの書き方を学び、自分の活動を振り返ることを学ぶ。	田中 純一
13	地域のニーズを踏まえた行事やイベント等の企画立案	児童館・放課後児童クラブでの行事を企画立案書を作りることを通じて、企画立案の手法を学ぶ。	田中 純一
14	企画発表会	グループごとに規格を発表して互いに学びあう。	田中 純一
15	まとめ	学習した内容を記述式でまとめる。	田中 純一

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	児童館論	阿南健太郎他 共著	一般財団法人 児童健 全育成財団	2015 年	1,000 円	
参考書	放課後児童クラブ支援員都道府県 認定資格研修教材	柏女壺峰他共 著	中央法規	2015 年	1,000 円	
その他の資料	子そだて支援情報誌スキップ	新潟市こども 未来課	新潟市こども未来課	2017 年	0円	無償頒布されて います

評価方法

授業ごとのレポートと15回目に記述式でまとめのテストを実施します。持込み可能です。

履修上の留意点

児童館・放課後児童クラブの活動は多岐にわたるので日頃の活動において児童健全育成に役立つものを授業と結び付けて考えるように履修してほしいと考えています。

オフィスアワー・連絡先

ホームページ <http://www.na.rim.or.jp/~tomoyan/>
メール tomoyanjun@yahoo.co.jp